

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和4年4月～6月)

外出緩和により消費は戻りつつあるが、資材不足と物価高騰、エネルギー値上がりが深刻化し、多くの業種で依然として景況は回復していない。次期には、景況の好転が期待されている。

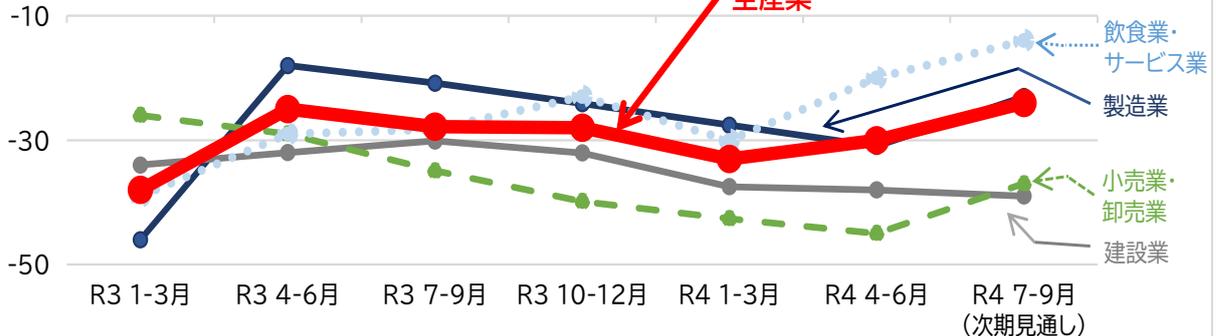
ポイント

- ▶ 令和4年4月～6月期の総合業況DIは▲30と、前期▲33からやや改善した。前期悪化した飲食業・サービス業(前期▲30・今期▲20)は改善した。建設業(前期▲38・今期▲38)は前期から変わらず。製造業(前期▲28・今期▲31)と、小売業・卸売業(前期▲43・今期▲45)は、若干の悪化であった。
- ▶ コメントによると、資材不足と円安による物価高、燃料費・電気代上昇が深刻化している。外出緩和で消費は回復しつつあるが、大型店への客足や団体需要が戻るのにはまだまだ時間がかかりそうである。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲24と、今期▲30から6ポイント改善の見込み。飲食業・サービス業(今期▲20・次期▲14)は今期に引き続き改善の見込み。製造業(今期▲31・次期▲23)と小売業・卸売業(今期▲45・次期▲37)は1年以上続いた悪化傾向から、次期は改善に転じる見込み。建設業(今期▲38・次期▲39)は厳しい状況が続くと予想される。

各業界から寄せられたコメント

- ・【各種製品の加工、検査及び包装】品薄感があり、業界が製品の確保に動いており急がされる事が多い。対応するための人員確保の人員費が上がっている。
- ・【賃貸管理、リフォーム工事、不動産売買仲介】建材、電材の品薄、単価上昇がいつまで続くのか不安。給湯器交換ができず入居者の募集ができない部屋が徐々に増加。
- ・【生花の委託販売】大型店への集客数が軒並み少ない。
- ・【レンタカー・カーリース】外出等の緩和により、通常時ほどには及ばないが持ち直している。半面採用難が課題で特にパートアルバイトの確保が厳しい。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R3.4-6)	前々期概況 (R3.10-12)	前期概況 (R4.1-3)	今期概況 (R4.4-6)	次期見通し (R4.7-9)
製 造 業	▲18 ☁️	▲24 ☁️	▲28 ☁️	▲31 ☁️	▲23 ☁️
建 設 業	▲32 ☁️	▲32 ☁️	▲38 ☁️	▲38 ☁️	▲39 ☁️
小 卸 業	▲29 ☁️	▲40 ☁️	▲43 ☁️	▲45 ☁️	▲37 ☁️
飲 食 業	▲25 ☁️	▲23 ☁️	▲30 ☁️	▲20 ☁️	▲14 ☁️
サ ー ビ ス 業	▲25 ☁️	▲23 ☁️	▲30 ☁️	▲20 ☁️	▲14 ☁️
全 業 種 (総 合)	▲25 ☁️	▲28 ☁️	▲33 ☁️	▲30 ☁️	▲24 ☁️

快晴 DI値 5以上	晴れ DI値 30~49	薄曇り DI値 10~▲10	小雨 DI値 ▲11~▲30	雨 DI値 ▲31以下
---------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------------

調 査 期 間 : 令和4年4月1日～6月30日
 回 答 率 : 23.9% 回 答 者 数 : 902件
 調 査 対 象 : 当所会員事業所3,781事業所

＜＜景気観測調査＞＞

前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。